

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公開番号】特開2017-35803(P2017-35803A)

【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2015-157217(P2015-157217)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/04 (2006.01)

B 4 1 J 2/32 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/04

B 4 1 J 2/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月4日(2018.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録紙に印字を行うサーマルヘッドと、

前記記録紙を介して前記サーマルヘッドに当接すると共に、その回転に応じて前記記録紙を紙送りするプラテンローラと、

前記サーマルヘッドが固定されたヘッド支持部材であって、該サーマルヘッドを回動軸の周りで前記プラテンローラに向けて回動自在に支持する前記ヘッド支持部材と、

前記回動軸を介して前記ヘッド支持部材を支持するとともに、前記プラテンローラを回転自在に支持するヘッドフレームと、

前記サーマルヘッドと前記プラテンローラとの間に前記記録紙を案内するガイド部材と

、

を備え、

前記サーマルヘッドと前記ガイド部材とは、前記回動軸を介して前記ヘッドフレームに對して位置決めされている印字ユニット。

【請求項2】

前記ヘッドフレームには、前記プラテンローラを回転可能に収容する収容凹部が形成されている

請求項1に記載の印字ユニット。

【請求項3】

前記回動軸には、前記プラテンローラを前記収容凹部から離脱する方向に押圧する解除レバーが回動可能に取り付けられている

請求項2に記載の印字ユニット。

【請求項4】

前記ガイド部材には、前記ガイド部材を通過する前記記録紙の有無を検出する紙検出センサが配設されている

請求項1から請求項3の何れか1項に記載の印字ユニット。

【請求項5】

前記ヘッド支持部材は、

前記サーマルヘッドが固定された支持壁と、  
前記ヘッド支持壁における左右方向の両端部から各別に屈曲された一対のステーと、  
前記一対のステーに形成され、前記回動軸を収容する連結凹部と、

を有している

請求項 1 から請求項 4 の何れか 1 項に記載の印字ユニット。

**【請求項 6】**

請求項 1 から請求項 5 の何れか 1 項に記載の印字ユニットと、

前記印字ユニットが組み付けられたケーシングと、を備えているサーマルプリンタ。